

2 廃棄物・リサイクルの状況

(1) 一般廃棄物

一般廃棄物の総排出量(平成19年度)は、人口規模の大きい愛知県が2,894千tと最も多く、次いで岐阜県が790千t、長野県が760千t、三重県が748千t、石川県が732千t、富山県が419千t、福井県が309千tとなっています。また、1人1日当たり排出量(平成19年度)では、石川県が1,711g/人・日と突出していますが、これは平成19年3月に発生した能登半島地震の影響であるとみられます。次いで、愛知県が1,096g/人・日、三重県が1,093g/人・日と全国平均(1,089g/人・日)をわずかに上回っていますが、その他の県は福井県1,031g/人・日、富山県1,030g/人・日、岐阜県1,027g/人・日、長野県951g/人・日と全国平均を下回っています。これを前年度と比較すると、全国平均では2.3%減となっている中で、石川県が47.4%増となっている以外は、富山県が4.0%減、福井県が3.4%減、岐阜県が3.1%減、三重県が2.7%減、長野県及び愛知県がそれぞれ1.6%減といずれも減少しています。

一般廃棄物の最終処分量(平成19年度)については、平成14年と比較した減少率で見ると、石川県(148.5%増)を除きいずれも減少しており、このうち三重県(44.8%減)と岐阜県(31.3%減)は全国平均(29.7%減)を上回っています。一般廃棄物最終処分場の1人当たり残余容量(平成19年度)は、愛知県が特に低く0.4m³/人となっており、富山県と長野県で0.6m³/人、福井県で0.8m³/人、三重県で1.0m³/人と、全国平均(1.0m³/人)以下となっています。

一般廃棄物のリサイクル率(平成19年度)は、三重県が31.2%と高くなっています。次いで長野県が24.2%、岐阜県が23.1%、愛知県が22.6%、石川県が22.5%、富山県が20.7%と全国平均(20.3%)を上回っています。

(2) 産業廃棄物

産業廃棄物の総排出量(平成18年度)は、一般廃棄物と同様に愛知県が20,582千tと最も多く、三重県が7,578千t、岐阜県が5,541千t、長野県が4,937千tと続いています。平成18年度と平成13年度を比較した増減率では、三重県で36.8%増加しているのを筆頭に、愛知県で11.5%、石川県で10.4%増加するなど、経済活動が活発であった太平洋沿岸の工業地域を中心に全国平均(4.6%増)に比べて増加している県があります。

平成20年度に新たに確認された産業廃棄物の不法投棄事案は、三重県で8件68,005t、愛知県で5件998t、石川県で5件773t、福井県で7件361t、富山県で2件40tでした。平成20年度末時点の不法投棄の残存量は、三重県で1,828千tと多くなっています。次いで福井県898千t、岐阜県724千t、愛知県373千tとなっています。